

第1回「国際アーカイブズの日」記念日本大会アピール

平成20年6月9日

1. 国際公文書館会議(ICA)は、1948年6月9日、ユネスコ(UNESCO)の支援を得て設立された。本年が、設立60周年に当たることから、ICAは、6月9日を「国際アーカイブズの日」(International Archives Day)とすることとし、初めて加盟各国において、適切な記念行事等の開催を呼びかけた。
2. これを受けて、わが国においても、全国の公文書館等の館長、「アーカイブズ関係機関協議会」(平成19年5月設立 構成員:ARMA International 東京支部、企業史料協議会、記録管理学会、独立行政法人国立公文書館、日本アーカイブズ学会、日本画像情報マネジメント協会、日本歴史学協会国立公文書館特別委員会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(オブザーバー))の構成員を始めとするアーカイブズ関係者、独立行政法人、企業等の関係者、マスメディア関係者、そのほかアーカイブズに関心を有する者が一堂に会し、「国際アーカイブズの日」記念日本大会を開催した。
3. この第1回目となる「国際アーカイブズの日」記念日本大会において、我々アーカイブズ関係者は、以下について、改めて認識を共有した。
 - ・ アーカイブズは、人類共通の遺産として、後世に伝えなければならないものである。
 - ・ アーカイブズは、過去を直視し、将来を見通すものである。
 - ・ アーカイブズは次世代の国民へ説明責任を果たすためのものであり、民主主義の基盤である。
 - ・ アーカイブズは、国や地方自治体のみならず、広く民間の記録も含むものである。
 - ・ アーカイブズを保存し、広く一般の利用に供することが、アーカイブズ関係機関の任務であり、アーキビストの使命である。
4. 以上のような共通認識の上に立って、今後我々は、日本のアーカイブズ文化の発展のために全力を尽くし、さらに国際的な協調のもとに、世界全体のアーカイブズの発展に貢献していくことを誓うとともに、広くすべての国民に対し、アーカイブズの機能と役割について認識を深めていただくよう強く求めるものである。

本アピールは、平成20年6月9日(月)、東京都において、「国際アーカイブズの日」記念講演会を開催した際に採択されました。

上記講演会は、国際公文書館会議(ICA)(1948年6月9日、ユネスコの支援を得て設立)の設立60周年に当たり、6月9日を「国際アーカイブズの日」(International Archives Day)とすることとし、加盟各国において、記念行事等の開催を呼びかけてきたことに伴い、わが国においても、全国の公文書館等の館長、アーカイブズ関係機関協議会の構成員を始めとするアーカイブズ関係者、独立行政法人、企業等の関係者、マスメディア関係者、そのほかアーカイブズに関心を有する者が一堂に会し、わが国における今後のアーカイブズについて議論を進めるため開催したものです。

本アピールを含む今回の「国際アーカイブズの日」記念講演会の取組については、国際公文書館会議の発足60周年記念大会となる7月のICAクアラルンプール大会において報告することとしています。